

電話等でのやりとりではより丁寧に

奈良県医師国民健康保険組合
書記 半澤 真理子 (はんざわ まりこ)
国保組合 7年目

奈良県医師国民健康保険組合の書記半澤真理子さんは、受付、システム管理、各種補助金申請・報告、その他各種報告、レセプト点検業務、保健事業等、幅広い業務を担当されている。

来訪いただくことより電話での問い合わせや郵便での連絡が多く、顔の見えないやりとりであるので、より分かりやすく丁寧に説明するよう心掛けているとのこと。

また、「国保組合でもマイナンバーの利用が始まったので、システム対応が円滑に進むよう頑張りたいです」と、抱負を語っていただいた。

半澤さんは、電車の路線図を眺めたり、実際に都



会の駅周辺を歩くのが好きとのこと。「首都圏の路線・駅は変化が多く、いつか東京・神奈川の駅を中心にゆっくり旅行したい」と夢を語っていただいた。

健康づくりの面では、最近ヨーグルトを毎日食べることを始めたとのこと。また、「子どもが大きくなったら、学生の頃にしていた水泳かテニスを復活したい」と、思いを語っていただいた。



国保の仲間

疑問に思ったことは徹底的に調べメモに

奈良県国保連合会 保険者支援課 療養費係
主事 中山 翔平 (なかやま しょうへい)
国保連合会 2年目

奈良県国保連合会保険者支援課の主事中山翔平さんは、療養費係で療養費の審査・支払業務を担当されている。

本年4月から現在の担当になったところであり、責任を持ってできることを増やすことに努めているとのこと。「分からないことや疑問に思ったことは、徹底的に調べ、メモに残している」と、心掛けを語っていただいた。

また、「担当業務だけでなく、国民健康保険に関わる業務を幅広く習得したい」と、抱負を語っていただいた。



中山さんは、サッカーが好きで、子どものころから続けている。しかし、「現在、メンバーが集まりにくく、あまりサッカーができない」と、物足りなさを感じておられるとのこと。

また、体力づくりのために、市町村会館6階の職場までエレベーターを使わず、階段を上っているとのことで、身近な取組みを語っていただいた。